

2021年9月26日実施

令和3年度（第65回）
情報処理検定試験
〈プログラミング部門〉
第2級 試験問題

注意事項

1. 監督者の指示があるまで、試験問題に手を触れないでください。
2. 試験問題は9ページあります。
3. 解答はすべて解答用紙に記入します。
4. 【1】～【6】は共通問題です。
5. 【7】の問題はJava・マクロ言語のいずれか一つを選択し、解答用紙の
選択言語を で囲んでください。
6. 電卓などの計算用具は使用できません。
7. 筆記用具などの物品の貸借はできません。
8. 問題用紙の回収については監督者の指示にしたがってください。
9. 制限時間は50分です。

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

受験番号

【1】 次の説明文に最も適した答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

1. 企業の敷地内や建物内など、限られた範囲の中でコンピュータを接続したネットワーク。
2. 試験用のデータを使って、プログラムが正しく動作するかを確認する作業。
3. ファイルやディレクトリなどに対して、読み取りや書き込みなど、すべての操作が許可されたアクセス権限。
4. ソースコードを1行ずつ機械語に解釈し、そのつど実行する言語プロセッサ。
5. アンケート集計などで利用され、塗りつぶされたマークの位置を読み取ることで、大量のデータを高速に処理することができる装置。

解答群

- | | | |
|------------|---------|-------------|
| ア. OMR | イ. デバッグ | ウ. フルコントロール |
| エ. ブロードバンド | オ. LAN | カ. コンパイラ |
| キ. インタプリタ | ク. OCR | ケ. テストラン |
| コ. パケット | | |

【2】 次のA群の語句に最も関係の深い説明文をB群から選び、記号で答えなさい。

- <A群> 1. CSV 2. グループウェア 3. ローカル変数
4. 不正アクセス禁止法 5. ファイアウォール

<B群>

- ア. プログラム内のどこからでも参照できる大域変数。
イ. ネットワークを通じて、他人のIDとパスワードを使用し、コンピュータシステムを不正に利用する行為などを禁止した法律。
ウ. プログラムの不具合やコンピュータシステムの設計上のミスなどが原因となって発生する、ネットワークやコンピュータシステムにおけるセキュリティ上の欠陥。
エ. 組織内の様々なスケジュール管理やファイル共有などの情報共有を行い、業務の効率化を図るソフトウェア。
オ. アプリケーションソフトウェア間のデータ交換の際に用いられる、データをコマで区切って記録するファイル形式。
カ. 文化の発展に寄与することを目的とし、著作者などの権利の保護を図る法律。
キ. サービスを提供するコンピュータと、そのサービスを利用するコンピュータで構築されたネットワーク形態。
ク. プログラム内の限られた範囲のみで参照できる局所変数。
ケ. 音楽CDとほぼ同等の音質を保ち、データ容量を圧縮して記録することができる音声データのファイル形式。
コ. 組織内のネットワークを外部の攻撃から防ぐため、インターネットと組織内のネットワークの境界に設けられたソフトウェアやハードウェア。

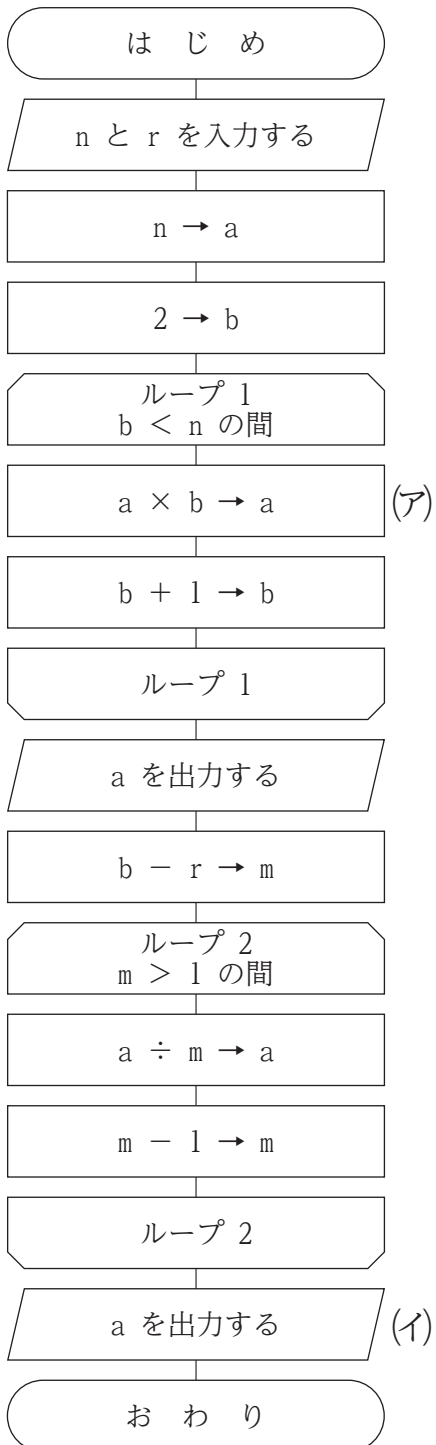
【3】 次の説明文に最も適した答えをア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。

1. 2進数の 10110 と10進数の 14 との積を表す10進数。
ア. 36 イ. 154 ウ. 308
2. 国際間の取引を促進するため、工業製品やマネジメントシステムなどについての国際標準を定める機構。
ア. ISO イ. JIS ウ. ANSI
3. 検査用数字列などをコードに付加し、入力されたコードが正しいかどうかを検査する方法。
ア. トータルチェック イ. チェックディジットチェック ウ. ニューメリックチェック
4. OSが対応するアプリケーションソフトウェアなどを識別するため、ファイル名の末尾に付けられる文字列。
ア. 拡張子 イ. バイナリファイル ウ. アーカイバ
5. 解像度4,000×6,000ピクセル、1ピクセルあたり16ビットの色情報を持つ画像500枚分の記憶容量。ただし、1GB=10⁹Bとする。
ア. 1.5GB イ. 24GB ウ. 192GB

【4】 流れ図にしたがって処理するとき、(1)~(5)を答えなさい。なお、入力する n の値は 2 以上の整数、 r の値は n 未満の正の整数とする。

- (1) n の値が 5, r の値が 2 のとき、(ア)の処理を2回目に実行したあとの a の値を答えなさい。
- (2) n の値が 5, r の値が 2 のとき、(イ)で出力される a の値を答えなさい。
- (3) n の値が 7, r の値が 3 のとき、(ア)の処理を何回実行するか答えなさい。
- (4) n の値が 7, r の値が 3 のとき、(イ)で出力される a の値を答えなさい。
- (5) 流れ図の処理について説明した文のうち、正しいものはどれか。ア、イ、ウの中から選び、記号で答えなさい。
 - ア. 処理を終了したとき、 m の値は n の値と一致する。
 - イ. 処理を終了したとき、 b の値は m の値と一致する。
 - ウ. 処理を終了したとき、 b の値は n の値と一致する。

<流れ図>



【5】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)～(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

ある宅配会社における1週間の街区ごとの配達データを読み、再配達率一覧表をディスプレイに表示する。

入力データ

街区名 (Gmei) ×××	配達回数 (Hsu) ×××	再配達回数 (Ssu) ×××
----------------------	----------------------	-----------------------

(第1図)

実行結果

(再配達率一覧表)				
(街区名)	(配達回数)	(再配達回数)	(再配達率(%))	(判定)
○△区	126	10	7.9	
□▼区	154	21	13.6	*
∩	∩	∩	∩	∩
●◇区	134	26	19.4	*
■☆区	163	16	9.8	
(合計)	2,895	339	11.7	
(再配達率(%))が最大の街区名			●◇区	
(再配達率(%))の最大			19.4	

(第2図)

処理条件

1. 第1図の入力データを読み、再配達率(%)を次の計算式で求め、第2図のように表示する。なお、判定は再配達率(%)が12以上の場合は*を表示する。

$$\text{再配達率(\%)} = \text{再配達回数} \times 100 \div \text{配達回数}$$

2. 入力データが終了したら、全体の再配達率(%)を次の計算式で求め、配達回数の合計、再配達回数の合計、全体の再配達率(%)を、第2図のように表示する。

$$\text{全体の再配達率(\%)} = \frac{\text{再配達回数の合計} \times 100}{\text{配達回数の合計}}$$

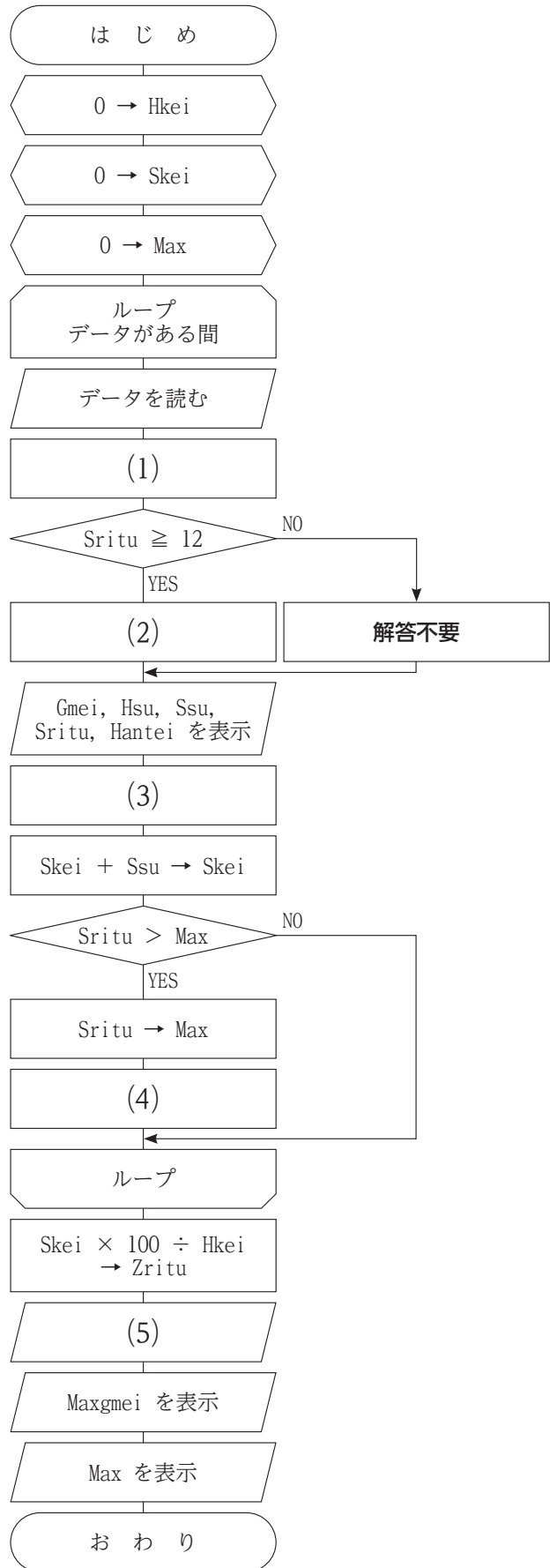
3. 再配達率(%)が最大の街区名、再配達率(%)の最大を第2図のように表示する。なお、再配達率(%)の最大は、同じ再配達率(%)があった場合、先に入力されたデータを優先する。

4. データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. Skei + Hsu → Skei
- イ. Ssu × 100 ÷ Hsu → Sritu
- ウ. Hantei → Maxgmei
- エ. Hkei + Hsu → Hkei
- オ. Hsu × 100 ÷ Ssu → Sritu
- カ. Hkei, Skei, Zritu を表示
- キ. " " → Hantei
- ク. Gmei → Maxgmei
- ケ. Hsu, Ssu, Sritu を表示
- コ. "*" → Hantei

<流れ図>



【6】 流れ図の説明を読んで、流れ図の(1)~(5)にあてはまる答えを解答群から選び、記号で答えなさい。

<流れ図の説明>

処理内容

ある食品スーパーマーケットにおける3か月間の会員の購入データを読み、会員別集計一覧表をディスプレイに表示する。

入力データ

購入月日 (Tukihi) ××××	会員番号 (Kban) ×××	購入金額 (Kkin) ×~×
--------------------------	-----------------------	-----------------------

(第1図)

実行結果

(会員別集計一覧表)					
(会員名)	(最新購入月日)	(購入回数)	(購入金額計)	(合計点数)	(ランク)
中村〇〇	917	19	150,900	8	B
田中〇〇	921	28	193,500	11	A
山田〇〇	815	4	21,100	2	C
}	}	}	}	}	}
鳥谷〇〇	922	16	256,000	9	B
後藤〇	910	10	91,500	5	C
西〇	914	30	340,400	12	A
(ランクAの会員数)			39人		
(割合)			19.5%		

(第2図)

処理条件

- 第1図の入力データは、購入月日の昇順に記録されている。なお、会員番号は 1~200 であり、すべての会員に購入があったものとする。
- 配列 Kmei に会員名を、配列 Kaiten に購入回数の点数を、配列 Kinten に購入金額計の点数を記憶する。なお、Kmei の添字は会員番号と対応している。

配列

Kmei	(0)	(1)	(2)	(3)	~	(198)	(199)	(200)
		中村〇〇	田中〇〇	山田〇〇	~	鳥谷〇〇	後藤〇	西〇
Kaiten	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)		
			1	3	4	6	7	
Kinten	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)			
			1	2	4	5		

- 第1図の入力データを読み、次の処理を行う。
 - 会員番号ごとに配列 Saisin に購入月日を記憶する。なお、購入月日はデータを読むごとに更新する。また、配列 Kaisu に購入回数を求め、配列 Kinkei に購入金額を集計する。ただし、Saisin, Kaisu, Kinkei の添字は会員番号と対応している。

配列

Saisin	(0)	(1)	(2)	(3)	~	(198)	(199)	(200)
					~			
Kaisu	(0)	(1)	(2)	(3)	~	(198)	(199)	(200)
					~			
Kinkei	(0)	(1)	(2)	(3)	~	(198)	(199)	(200)
					~			

- 入力データが終了したら、次の処理を行う。
 - 会員ごとに合計点数を次の計算式で求める。なお、次の表のように、購入回数の点数は配列 Kaiten、購入金額計の点数は配列 Kinten を利用して求める。

合計点数 = 購入回数の点数 + 購入金額計の点数

購入回数	0回~5回	6回~11回	12回~17回	18回~23回	24回以上
点数	1点	3点	4点	6点	7点

購入金額計	0円~79,999円	80,000円~159,999円	160,000円~239,999円	240,000円以上
点数	1点	2点	4点	5点

- 会員名からランクまでを第2図のように表示する。なお、ランクは合計点数が 10 以上の場合は A を、6 以上の場合は B を、それ以外の場合は C を表示する。また、ランクAの人数を集計する。
- ランクAの会員数の割合を次の計算式で求め、ランクAの会員数と割合を第2図のように表示する。

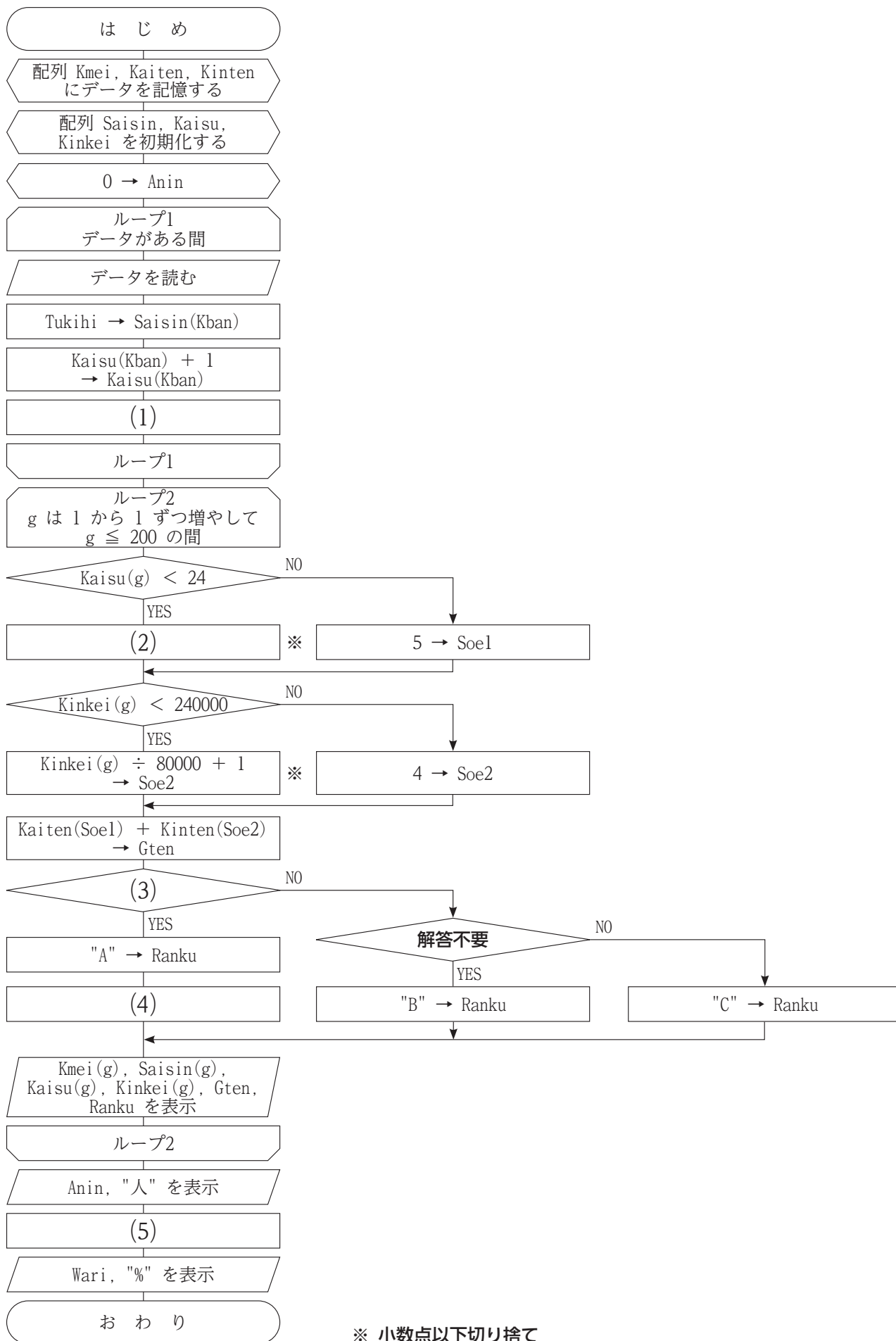
割合 = ランクAの会員数 × 100 ÷ 200

- データにエラーはないものとする。

解答群

- ア. Kinkei(Kban) + Kkin → Kinkei(Kban)
- イ. Kinkei(g) ÷ 6 + 1 → Soel
- ウ. Gten ≥ 10
- エ. Anin + 1 → Anin
- オ. Kaisu(Kban) + Kkin → Kaisu(Kban)
- カ. Gten × 100 ÷ 200 → Wari
- キ. Kaisu(g) ÷ 6 + 1 → Soel
- ク. Saisin(g) + 1 → Saisin(g)
- ケ. Anin × 100 ÷ 200 → Wari
- コ. Gten ≥ 5

<流れ図>



※ 小数点以下切り捨て

[7] プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)~(5)を答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

あるパスタ専門店の1週間分の販売データを読み、集計結果を表示する。

入力データ

販売データ (ファイル名: hanbai.csv)

日付	店舗番号	商品番号	区分番号
××××	×	×××	×

(第1図)

実行結果

```

店舗番号を入力してください→1
【尼崎店】
商品名      販売数量      販売金額      備考
ペスカトーレ      30      29,700      ○
アラビアータ      20      19,150      }
                }              }              }
イカスミ          0              0
ミート納豆        20      19,000
                合計      831      832,730
                平均      24      24,492
店舗番号を入力してください→2
【姫路店】
                }
店舗番号を入力してください→0
    
```

(第2図)

処理条件

- 第1図の店舗番号は、1 (尼崎店) ~4 (福山店) の4種類である。なお、商品番号は35種類であり、区分番号は、1 (小盛), 2 (並盛), 3 (大盛) である。
- 配列 tm に店舗名を記憶する。なお、tm の添字は店舗番号と対応している。

配列

tm	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)
		尼崎店	姫路店	倉敷店	福山店

- 店舗ごとの販売情報を管理する Tenpo クラスをインスタンス化し、配列 tp に記憶する。なお、tp の添字は店舗番号と対応している。

配列

tp	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)

- 配列 sb に商品番号を、配列 sm に商品名を、配列 st に単価を記憶する。なお、sb, sm, st の添字は対応している。

配列

sb	(0)	(1)	(2)	~	(34)	(35)
		109	315	~	711	715
sm	(0)	(1)	(2)	~	(34)	(35)
		ペスカトーレ	アラビアータ	~	イカスミ	ミート納豆
st	(0)	(1)	(2)	~	(34)	(35)
		980	950	~	1000	950

- 第1図の販売データを読み、次の処理を行う。
 - 商品番号をもとに配列 sb を探索し、販売金額を次の計算式で求める。なお、区分番号が 1 の場合は、150円値引き、3 の場合は、150円増しとする。

$$\text{販売金額} = \text{単価} + (\text{区分番号} - 2) \times 150$$
 - 販売があった商品の種類数を求める。
 - 配列 su に販売数量を、配列 kin に販売金額を集計する。なお、su(0), kin(0) には合計を求める。また、su, kin の添字は配列 sb の添字と対応している。

配列

su	(0)	(1)	(2)	~	(34)	(35)
				~		
	(合計)					
kin	(0)	(1)	(2)	~	(34)	(35)
				~		
	(合計)					

- データを読み終えたあと、キーボードから店舗番号が入力されたら、次の処理を行う。
 - 店舗名を第2図のようにディスプレイに表示する。
 - 商品名から備考までを第2図のようにディスプレイに表示する。なお、備考は、販売数量の平均を次の計算式で求め、販売数量が平均を超えた場合は ○ を表示する。

$$\text{販売数量の平均} = \text{販売数量の合計} \div \text{販売があった商品の種類数}$$
 - 販売数量と販売金額の合計と平均を第2図のようにディスプレイに表示する。なお、販売金額の平均は次の計算式で求める。

$$\text{販売金額の平均} = \text{販売金額の合計} \div \text{販売があった商品の種類数}$$
- キーボードから 0 が入力されたら処理を終了する。

<Javaプログラム>

```
//クラスTenpo
public class Tenpo {
    public static int[] sb = { 0, 109, 315, ~ 711, 715 };
    public static String[] sm = { "", "ペスカトーレ", "アラビアータ", ~ "イカスミ", "ミート納豆" };
    public static int[] st = { 0, 980, 950, ~ 1000, 950 };
    public String tMei;
    public int[] su = new int[36];
    public int syurui;
    public int[] kin = new int[36];
    public Tenpo(String tMei) {
        this.tMei = tMei;
    }
    public void keisan(int sBan, int kBan) {
        int m = 1;
        while(sb[m] != sBan) {
            (1);
        }
        int hanKin = st[m] + (kBan - 2) * 150;
        if(su[m] == 0) {
            syurui = syurui + 1;
        }
        su[m] = su[m] + 1;
        su[0] = su[0] + 1;
        kin[m] = kin[m] + hanKin;
        (2);
    }
    public void hyoji() {
        System.out.printf("【%-3s】 ¥n", tMei);
        System.out.println("商品名 販売数量 販売金額 備考");
        int (3);
        for(int n = 1; n <= 35; n++) {
            String biko;
            if(su[n] > suHei) {
                biko = "○";
            } else {
                biko = " ";
            }
            System.out.printf("%-8s %2d %6d %1s¥n", sm[n], su[n], kin[n], biko);
        }
        int kinHei = kin[0] / syurui;
        System.out.printf("合計 %3d %7d¥n", su[0], kin[0]);
        System.out.printf("平均 %2d %6d¥n", suHei, (4));
    }
}

//クラスHanbaiBunseki
import java.io.BufferedReader;

public class HanbaiBunseki {
    public static Tenpo[] tp = new Tenpo[5];
    public static void main(String[] args) throws IOException {
        String[] tm = { "", "尼崎店", "姫路店", "倉敷店", "福山店" };
        for(int i = 1; i <= 4; i++) {
            tp[i] = new Tenpo(tm[i]);
        }
        BufferedReader fileIn = new BufferedReader(new FileReader("hanbai.csv"));
        String line;
        while((line = fileIn.readLine()) != null) {
            String[] str = line.split(",");
            int hi = Integer.parseInt(str[0]);
            int tBan = Integer.parseInt(str[1]);
            int sBan = Integer.parseInt(str[2]);
            int kBan = Integer.parseInt(str[3]);
            (5).keisan(sBan, kBan);
        }
        fileIn.close();
        Scanner sc = new Scanner(System.in);
        System.out.print("店舗番号を入力してください→");
        int tb = sc.nextInt();
        while(tb != 0) {
            tp[tb].hyoji();
            System.out.print("店舗番号を入力してください→");
            tb = sc.nextInt();
        }
        sc.close();
    }
}
```


[7] プログラムの説明を読んで、プログラムの(1)~(5)を答えなさい。

<プログラムの説明>

処理内容

ある住宅リフォーム会社における、営業部の社員データと1週間分の営業成績データを読み、処理結果を表示する。

入力データ

社員データ (ファイル名: syain.csv)

社員番号	社員名	営業所番号
××××	×~×	×

(第1図)

営業成績データ (ファイル名: seiseki.csv)

日付	社員番号	契約金額
×~×	××××	×~×

(第2図)

ユーザーフォーム・実行結果

<営業所別集計>

営業所名	社員数	契約金額計	1人あたりの契約金額	評価
前橋営業所	20	9,195,000	459,750	
大宮営業所	22	11,304,000	513,818	◎
水戸営業所	12	6,241,000	520,083	◎
松戸営業所	17	7,869,000	462,882	
小山営業所	19	8,745,000	460,263	
全営業所	90	43,354,000	481,711	

(Label1)

<抽出条件による対象金額以上の社員>

抽出条件	社員名	営業所名	契約金額計
対象金額 700000 円以上 (TextBox1)	渡辺○○	水戸営業所	840,000 ▲
	小林○○	小山営業所	712,000
	加藤○○	大宮営業所	707,000 ▼
	}	}	}

(TextBox2)

対象金額以上の社員数 6 人
(Label12)

(第3図)

処理条件

1. 第1図の営業所番号は 1 (前橋営業所) ~5 (小山営業所) であり、社員データの件数は100件以下である。

2. ユーザーフォーム初期化時に次の処理を行う。

- ・ 配列 Emei に営業所名を記憶する。なお、Emei の添字は営業所番号と対応している。

配列

Emei	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
		前橋営業所	大宮営業所	水戸営業所	松戸営業所	小山営業所

- ・ 第1図の社員データを読み、配列 Sban に社員番号を、配列 Smei に社員名を、配列 Eban に営業所番号を記憶する。

なお、Sban, Smei, Eban の添字は対応している。

配列

Sban	(0)	(1)	(2)	~	(99)	(100)
		2508	1350	~		

Smei	(0)	(1)	(2)	~	(99)	(100)
		吉田○○	田中○○	~		

Eban	(0)	(1)	(2)	~	(99)	(100)
		4	2	~		

- ・ 配列 Esu に営業所ごとの社員数を求める。なお、Esu の添字は営業所番号と対応している。

配列

Esu	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

- ・ 第2図の営業成績データを読み、社員番号をもとに配列 Sban を探索し、配列 Skin に契約金額を集計する。なお、Skin(0) には合計を求める。また、営業所ごとに配列 Ekin に契約金額を集計する。ただし、Skin の添字は Sban の添字と対応し、Ekin の添字は営業所番号と対応している。

配列

Skin	(0)	(1)	(2)	~	(99)	(100)
				~		

(合計)

Ekin	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

- ・ データを読み終えたあと、全営業所の1人あたりの契約金額を次の計算式で求める。
全営業所の1人あたりの契約金額 = 全営業所の契約金額計の合計 ÷ 全営業所の社員数計
- ・ 営業所ごとの1人あたりの契約金額を次の計算式で求め、営業所名から評価までを Label1 に表示する。なお、評価は1人あたりの契約金額が全営業所の1人あたりの契約金額以上の場合は ◎ を表示する。
1人あたりの契約金額 = 契約金額計 ÷ 社員数

- ・ 全営業所の社員数計から1人あたりの契約金額までを Label1 に表示する。

3. 第3図のように、抽出したい対象金額を TextBox1 に入力し、「抽出」ボタンをクリックすると次の処理を行う。

- ・ 抽出条件に該当する社員ごとに社員名から契約金額計までを TextBox2 に表示し、対象金額以上の社員数を求める。
- ・ 対象金額以上の社員数を Label12 に表示する。

<マクロ言語プログラム>

```

Option Explicit
Dim Emei(5) As String, Su As Long, Smei(100) As String, Eban(100) As Long, Soe As Long, Skin(100) As Long

Private Sub UserForm_Initialize()
    Dim Sban(100) As Long, Esu(5) As Long, Hi As Long, Sb As Long, Kin As Long, h As Long, Ekin(5) As Long
    Dim Zen As Long, i As Long, Hitori As Long, Hyoka As String
    Emei(1) = "前橋営業所": Emei(2) = "大宮営業所": Emei(3) = "水戸営業所": Emei(4) = "松戸営業所": Emei(5) = "小山営業所"
    Labell.Caption = ""
    Call Syokika
    Open ThisWorkbook.Path & "¥syain.csv" For Input As #1
    Do While Not EOF(1)
        Su = Su + 1
        Input #1, Sban(Su), Smei(Su), Eban(Su)
        Soe = Eban(Su)
        Esu(Soe) = Esu(Soe) + 1
    Loop
    Close #1
    Open ThisWorkbook.Path & "¥seiseki.csv" For Input As #2
    Do While Not EOF(2)
        Input #2, Hi, Sb, Kin
        h = 1
        Do While Sban(h) <> Sb
            (1)
        Loop
        Skin(h) = Skin(h) + Kin
        Skin(0) = Skin(0) + Kin
        Soe = Eban(h)
        (2)
    Loop
    Close #2
    Zen = (3)
    For i = 1 To 5
        Hitori = Ekin(i) / Esu(i)
        If Hitori >= Zen Then
            Hyoka = "◎"
        Else
            Hyoka = " "
        End If
        Labell.Caption = Labell.Caption & Emei(i) & " " & Format(Format(Esu(i), "#0"), "@@") & " " & _
            Format(Format(Ekin(i), "##,###,##0"), "#####") & " " & _
            Format(Format(Hitori, "###,##0"), "#####") & " " & _
            Hyoka & Chr(13) & Chr(10)
    Next i
    Labell.Caption = Labell.Caption & "全営業所 " & " " & Format(Format(Su, "#0"), "@@") & " " & _
        Format(Format(Skin(0), "###,###,##0"), "#####") & " " & _
        Format(Format(Zen, "###,##0"), "#####")
End Sub

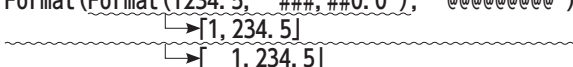
Private Sub 抽出_Click()
    Dim Tkin As Long, j As Long, Tsu As Long
    TextBox2.Text = "": Label2.Caption = ""
    Tkin = Val(TextBox1.Text)
    For (4) Su
        If Skin(j) >= Tkin Then
            Soe = Eban(j)
            TextBox2.Text = TextBox2.Text & (5) & " " & Emei(Soe) & " " & _
                Format(Format(Skin(j), "#,###,##0"), "#####") & Chr(13) & Chr(10)
            Tsu = Tsu + 1
        End If
    Next j
    Label2.Caption = Tsu
End Sub

Private Sub クリア_Click()
    Call Syokika
End Sub

Private Sub 終了_Click()
    End
End Sub

Private Sub Syokika()
    TextBox1.Text = "": TextBox2.Text = "": Label2.Caption = ""
End Sub

```

(注) 使用例 `Format(Format(1234.5, "###,##0.0"), "#####")`


(令和3年9月26日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和3年度（第65回）情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

解答用紙

【1】	1	2	3	4	5

【2】	1	2	3	4	5

【3】	1	2	3	4	5

小計

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
			回		

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)

小計

..... 【Java】・【マクロ言語】

【7】	(1)	
	(2)	
	(3)	
	(4)	
	(5)	

試験場校名	受験番号	選択言語		小計	合計
		Java	マクロ言語		

選択言語を で囲むこと

(令和3年9月26日実施)

主催 公益財団法人 全国商業高等学校協会

令和3年度(第65回)情報処理検定試験プログラミング部門 第2級

審査基準

【1】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	オ	ケ	ウ	キ	ア	

【2】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	オ	エ	ク	イ	コ	

【3】	1	2	3	4	5	各2点 計10点
	ウ	ア	イ	ア	イ	

小 計
30

【4】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	30	20	5 回	210	ウ	

【5】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	イ	コ	エ	ク	カ	

【6】	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	各3点 計15点
	ア	キ	ウ	エ	ケ	

小 計
45

..... 【Java】・【マクロ言語】

【Java】 (注) =, 演算子の前後の空白は問わない。

【7】	(1)	<code>m = m + 1</code>
	(2)	<code>kin[0] = kin[0] + hanKin</code>
	(3)	<code>suHei = su[0] / syurui</code>
	(4)	<code>kinHei</code>
	(5)	<code>tp[tBan]</code>

【マクロ言語】 (注) 大文字, 小文字および=, 演算子の前後の空白は問わない。

【7】	(1)	<code>h = h + 1</code>
	(2)	<code>Ekin(Soe) = Ekin(Soe) + Kin</code>
	(3)	<code>Skin(0) / Su</code>
	(4)	<code>j = l To</code>
	(5)	<code>Smiei(j)</code>

各5点 計25点

小 計	合 計
25	100